

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0023
 住 所 神奈川県川崎市川崎区小川町4-1
 氏 名 株式会社 チッタ エンタテイメント
 代表取締役社長 美須 孝子 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 チッタ エンタテイメント		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区小川町4-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産管理業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,446 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	運営部
		所在地	川崎市川崎区小川町4-1 LA CITTADELLA内
	電話番号		044-223-2333
	FAX番号		044-223-3291
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,067 t-CO ₂ (調) 2,698	(実) 3,292 t-CO ₂ (調) 2,929	(実) 2,507 t-CO ₂ (調) 2,206	(実) 2,521 t-CO ₂ (調) 2,223	(実) 2,975 t-CO ₂ (調) 2,617
削減率		(実) -7.3 % (調) -8.6	(実) 18.3 % (調) 18.2	(実) 17.8 % (調) 17.6	(実) 3.0 % (調) 3.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	夏季の猛暑ならびに冬季の寒冷により、主にラチッタデッラにおける冷暖房用の冷温水発生機ガス使用量が約115千m ³ （20%）増加した影響を強く受け、CO ₂ 排出量が前年に比べ225ton増加した。
第2年度	館内の照明設備のLED化、太陽光発電設備の設置に加えて、電力供給不足による電力使用制限の影響を受け、基準年度比で18%の削減を達成した。
第3年度	2010年度から省エネ対策を実施した結果当初の排出量から約18%削減することが出来た。特に2011年度の電力使用制限を乗り越えたことにより、従業員ならびに入居テナントの省エネ意識が向上した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○主要設備等の保安全管理 ○事務所等の空気調和の管理 ○照明設備の運用管理及び更新における措置 ○建物に関する新設における措置
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 → 温室効果ガスの削減に向けた組織体制を構築し省エネ推進委員会にて省エネ施策の検討を行った。 ○主要設備等の保安全管理 → 管理標準の改定を行った。 ○事務所等の空気調和の管理 → 外気導入量の適正化を図ると共に、空調温度を冷房27度、暖房21度の設定温度で管理した。 ○照明設備の運用管理及び更新における措置 → 過剰又は不要な照明の消灯、間引き運用を実施した。また、照明ランプの交換時には、LEDランプの導入を積極的に実施した。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○照明設備の運用管理及び更新における措置 → 過剰又は不要な照明の消灯、間引き運用を実施した。また、照明ランプの交換時には、LEDランプの導入を積極的に実施した。 ○太陽光発電設備の導入
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○照明ランプの交換時には、LEDランプの導入を積極的に実施した。 ○冷温水機の伝熱管交換を行い熱交換効率の改善を図った。 ○パッケージエアコン室内機のフィン洗浄を行い効率の改善を図った。 <p>総括 熱源機器の効率の見直しを実施し、効率が著しく落ちている箇所は3年間を通し順次修理や運転方法の見直しを行った。</p>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	
第1年度	
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	1. グリーン購入の推進を行う。 2. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。 3. 屋上菜園店舗による屋上緑化を実施する。 4. 夏季ランダム噴水実施による打ち水行為を実施する。 5. コージェネレーションシステムの効率運用を行う。 6. 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進
第1年度	1. 屋上菜園店舗による屋上緑化を行った。 2. 夏季ランダム噴水実施による打ち水行為を行った。 3. 従業員の通勤に公共交通機関の利用の促進を行った。
第2年度	電力使用制限令に伴い、徹底した節電運用を行った。
第3年度	前年度の節電運用を可能な限り継続して行うと共に照明のLED化を行った。 総括 3年度を通し熱源機器の効率的な運転方法を検討、検証し適切な運転が行えるようになった。また、従業員への省エネ手法及び省エネ意識が向上した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	2,680	t-CO ₂
(調)	2,677	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ラ チッタデッラ	川崎市川崎区小川町4-1	8011	映画館等	2,640 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	2

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--